

平成 22 年度 新規採択事業について

厚生労働省における事業の中から、水質に関連するものを拾ってみた。厚生労働省は水道ビジョンの実現を支援するため、平成 22 年度予算の配分にあたり、新規採択事業を増やした。特に、ライフライン強化事業のうち、高度浄水施設整備事業における水質に関連するものを挙げると、以下のようなものがある。

1. 鹿沼市では、浅井戸においてクリプトスポリジウムの指標菌が数回／年検出される。高度浄水施設整備事業として上水道と簡易水道の浄水場に紫外線処理施設の導入を順次計る。
2. 豊田市では、ダム湖から取水でかび臭や藻類臭・土臭の発生により一時取水の休止する事態がある。このことから、高度浄水施設整備事業として粒状活性炭処理装置の設置を検討する。
3. 四日市市では、幾つかの水源のうち、一河川でクリプトスポリジウムの指標菌が検出されたことがある。このため、紫外線処理施設の整備を検討する。
4. 熊谷市では、浅井戸でクリプトスポリジウム指標菌が検出されたため、紫外線処理施設の整備を検討する。
5. 今治市では、かつてクリプトスポリジウム検出されたが、場所の特定はできず、さらに多くの汚水処理施設の排水が流入することから、膜ろ過施設を導入することとした。

*** 解説：クリプトスポリジウムの代替指標菌としての大腸菌が水源で検出される例がある。これら事業体ばかりでなくその他の事業体でも検査の実施が必要になる可能性がある。**